

夜の闇に青白く輝くキタサンショウウオの卵囊。<sup>らんのおう</sup>

いつからか、  
その謎めいた美しさから、  
“湿原のサファイア”と  
呼ばれるようになりました。

日本国内では釧路湿原と国後島にのみ生息するキタサンショウウオ。  
釧路湿原では、1954年に小学生が初めてその存在を確認しました。  
その発見から、今年で60年。

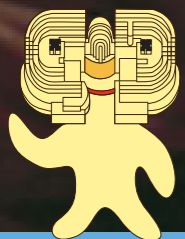
釧路市指定の天然記念物になって、来年で40年。

100年後もキタサンショウウオが棲む湿原であってほしい……。

そんな願いを込めて、博物館では毎年、彼らの産卵状況の調査をしています。

くしろ濃縮100%!

釧路市立博物館



〒085-0822 釧路市春湖台 1-7  
電話：0154-41-5809 / Fax：0154-42-6000  
E-mail：museum@city.kushiro.lg.jp  
<http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

2016年、博物館は創立80年を迎えます。